

---

競争ルールの検証に関するWG（第49回）  
関係者ヒアリング資料

---

2023年12月4日  
株式会社NTTドコモ

1. 中古端末市場における取組み
2. 新料金プラン移行の検討促進のための取組み
3. 5Gサービスの普及促進に向けて
4. その他

- 1. 中古端末市場における取組み**
2. 新料金プラン移行の検討促進のための取組み
3. 5Gサービスの普及促進に向けて
4. その他

- 当社は、2022年3月より、当社の厳しい基準をクリアした高品質なリユース品（中古品）である「docomo Certified（認定リユース品）スマートフォン」の取扱いを開始
- 販売台数は上昇傾向であり、「型落ち品でも、外装がきれいで手ごろな価格のスマホが欲しい」とのニーズは強い

## docomo Certified

ドコモが選んだ、リユース品。

ドコモの認定リユース スマートフォン

### 30日間保証であんしん

基本性能チェック済み  
電池残量80%以上



充実の30日間保証



外装もクリーニング済み



ケータイ補償サービス  
も加入可能



- 当社は、2023年9月より、端末の購入後13か月目以降はプログラム利用料の支払いにより、以降の支払いを不要とする「いつでもカエドキプログラム+」の提供を開始
- お客様に対して1年ごとに最新機種への買い替えを可能とし、中古端末市場における端末流通の促進を図っていききたい

回線契約がなくてもOK!



24か月目以降の残債を免除しおトクに機種変更可能  
(1~22か月目のご利用の場合、早期利用特典あり)

スマホ等の故障・水濡れ・盗難・紛失時のサポート  
さらにイエナカ機器やスマホの不正決済等も補償

**セットでのご契約により、  
「いつでもカエドキプログラム+」も選択可能**

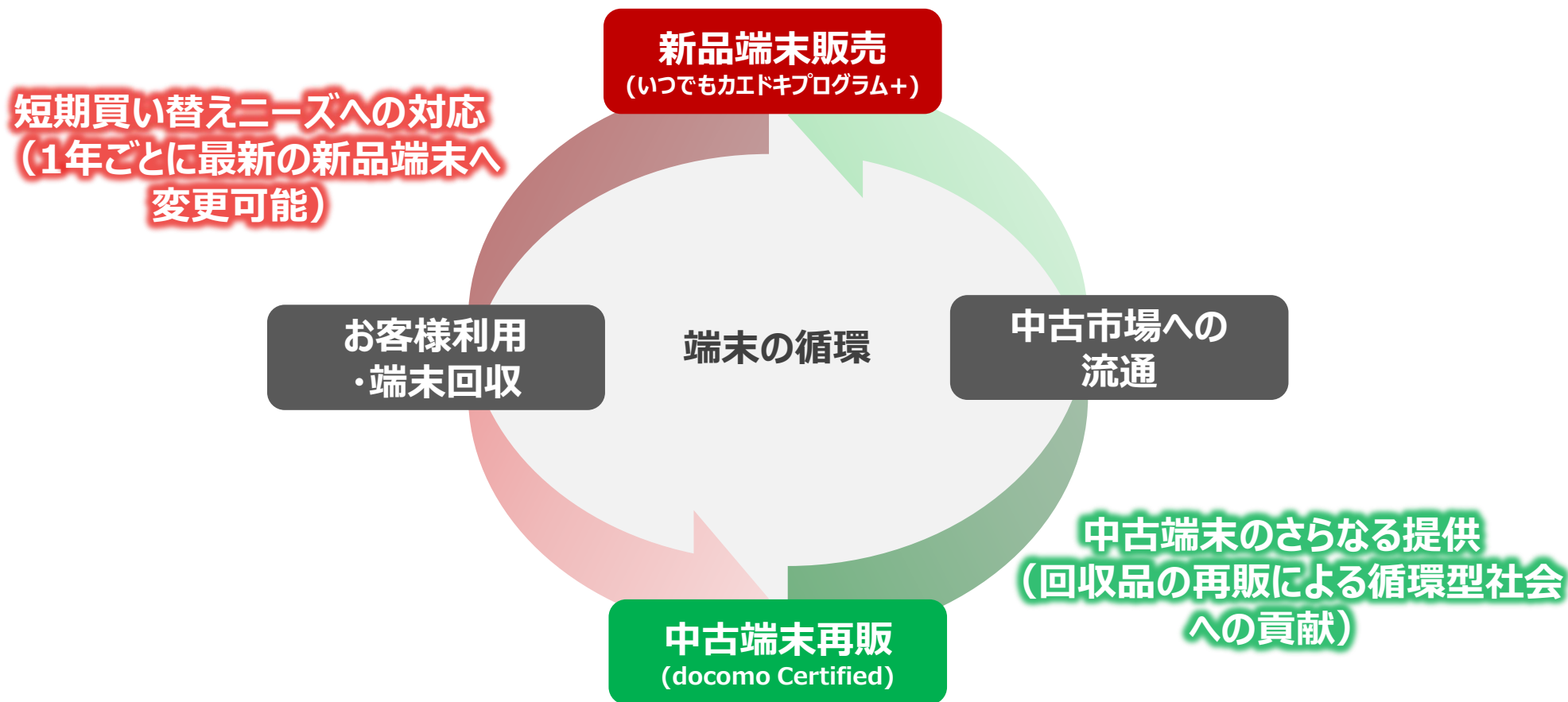
最新機種をもっとおトクにあんしんに



回線契約がなくてもOK!

- プログラム利用料を支払うだけで13か月目以降の残債を免除し、**1年ごとに最新端末へ変更可能**
- smartあんしん補償サービスの利用により、**補償・紛失の際にも適用可能**

- 「いつでもカエドキプログラム+」の提供により短期買い替えニーズへ対応し、お客様からご返却いただいた端末を「docomo Certified」にて中古端末市場へ流通させることにより、循環型社会へ貢献



1. 中古端末市場における取組み
2. **新料金プラン移行の検討促進のための取組み**
3. 5Gサービスの普及促進に向けて
4. その他

- 当社は、2023年7月より新しい料金プラン「eximo」「irumo」の提供を開始
- これにより、従来の「ahamo」と併せてお客様ごとの用途に適合した選択肢を提供

## ドコモは3つの料金プランで応えていく ～すべてのスマホユーザーにぴったりの選択肢を～

\ NEW /



eximo

小容量から無制限まで  
充実したサポート

\ さらにおトクに /



ahamo

オンラインに特化した  
シンプルワンプラン

\ NEW /



irumo

ドコモのプランを  
納得の料金で



- テレビCMやWeb広告を活用したメディアプロモーションによる新料金プランの認知度拡大を図るとともに、メール・電話勧誘（アウトバウンド）等による1to1施策にて旧プラン契約者の新料金プラン移行を促進

## メディアプロモーション

テレビCMやWeb広告を用いた新料金プラン訴求により、認知度を拡大



## 1to1施策

メール・電話勧誘等による旧プラン契約者の新料金プランへの移行を促進



メール



電話勧誘



旧プラン契約者

**新料金プランへの移行拡大**

eximo ahamo irumo

■ お客様のライフスタイルに応じた「金融・決済、イエナカ、コンテンツ、デバイス等」の様々なサービスの提案を通じて利用シーンをイメージアップいただくとともに、それに合わせた最適な料金プランを提案

## サービスミックス提案の強化



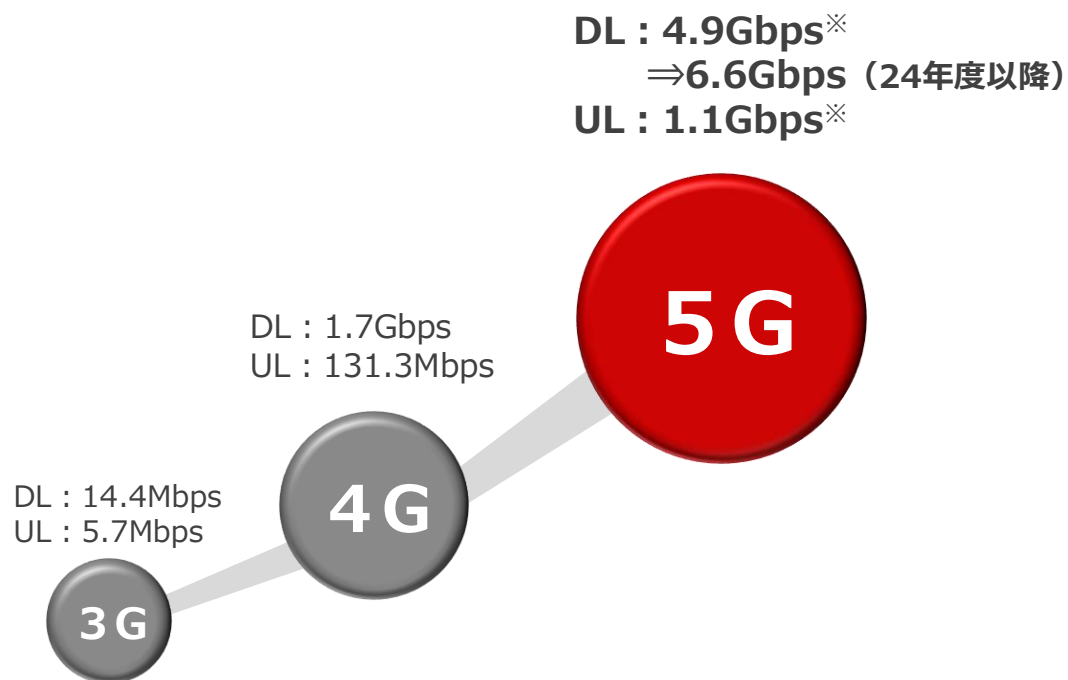
## <店頭訴求ツール（ポスター/チラシ）>



1. 中古端末市場における取組み
2. 新料金プラン移行の検討促進のための取組み
- 3. 5Gサービスの普及促進に向けて**
4. その他

- 5Gのお客様提供価値は24年度以降の「更なるスループット向上」「スライシング」により最大化
- 5Gサービスの普及促進に向けては、その提供価値を広く認知されるユースケースの創出が優先事項

## <ネットワーク進化イメージ>



## <提供価値>

【これまで】

- スループットの向上

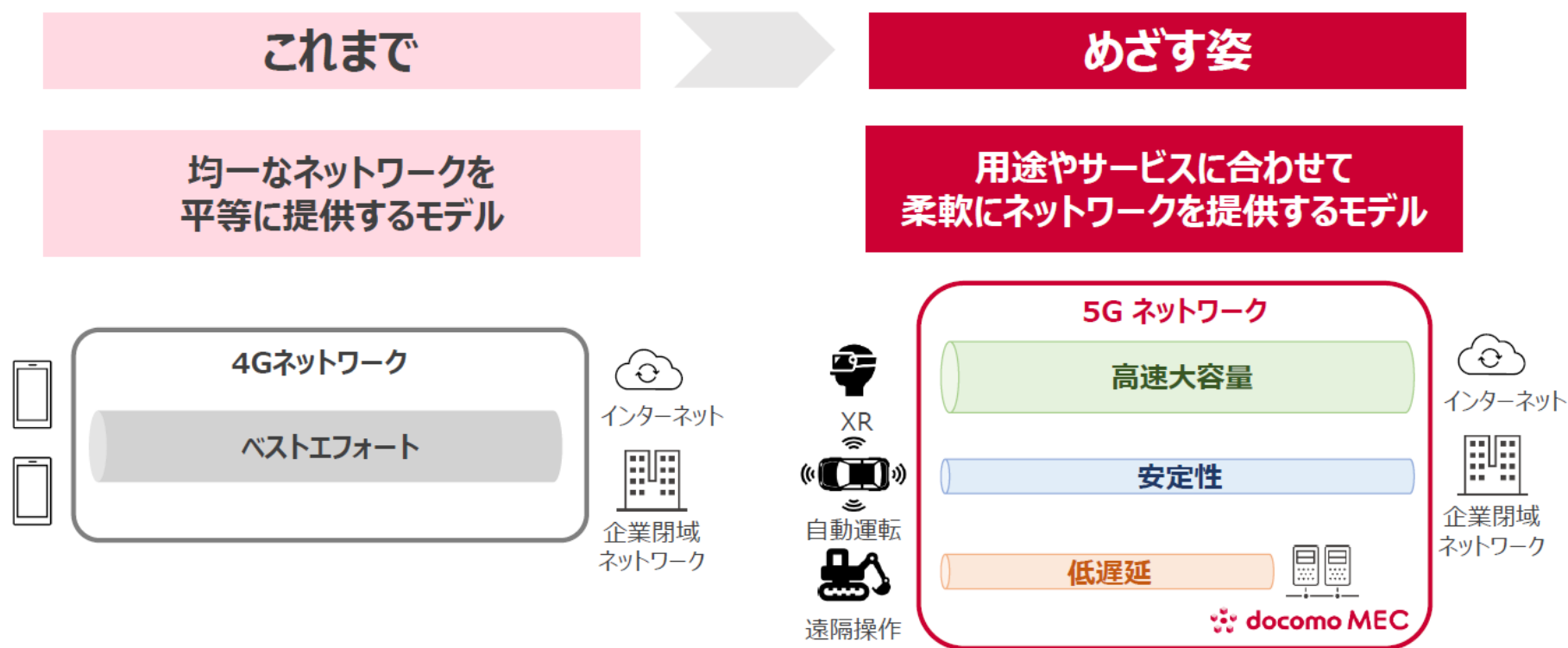
【24年度以降】

- **更なるスループット向上**  
DL最大6.6Gbps/UL最大1.1Gbps
- **スライシングによる**  
**ユースケース多様化への対応**

※5G SAにてミリ波とsub6を1波ずつ組み合わせた最大通信速度

- スライシング技術は、用途やサービスに合わせて柔軟にネットワークを提供するものであり、「5Gサービス」のユースケースの創出にあたって不可欠
- スライシングが本格的に実装・普及する場合には、一般利用者の通信環境への影響などについて、制度的なものも含めて検討が必要

## <スライシング技術イメージ>



1. 中古端末市場における取組み
2. 新料金プラン移行の検討促進のための取組み
3. 5Gサービスの普及促進に向けて
4. **その他**

- 当社は、27条の3に係る規律見直しを遵守すべくシステム・運用整備を行うとともに、独自覆面調査・定期モニタリング等による法令順守状況のチェック体制を構築することで、適切な運用の徹底を行う考え

<法令順守に向けた取り組み>

システム・運用整備

社内/代理店説明会の実施

社員/代理店向けeラーニングの実施

システム/マニュアル/運用ツール/HP等の更新

チェック体制の構築

キャリア独自覆面調査の実施

割引適用データ等による定期モニタリングの実施

内部通報窓口設置、広告掲示承認制度等、社内体制の整備

- 2023年5月24日よりMNPワンストップ方式によるMNP手続きの受付を開始
- MNO4社に対しMVNOは2社の導入に留まり、利用者利便向上の観点から事業者数拡大が望ましい

## <MNPワンストップ導入事業者>

### MNO (4社)

NTTドコモ

KDDI

ソフトバンク

楽天モバイル

### MVNO (2社)

日本通信

オプテージ



NTT  
docomo